

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ももっ子みつ
住 所	岡山市北区御津野々口1205-1
電話番号	086-724-5777

事業所番号	3310102292
管理者名	廣瀬 樹里
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間	
①1日の平均労働時間が7時間以上	
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満	
⑧1日の平均労働時間が2時間未満	
①⑨点 ②⑧点 ③⑥点 ④⑤点 ⑥③点 ⑦②点 ⑧①点	65

(IV) 支援力向上 (※)	
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	
参加した職員が1人以上参加している	○
②研修、学会等又は学会誌等において発表	
1回以上の場合	○
③視察・実習の実施又は受け入れ	
いずれか一方のみの取組を行っている	○
④販路拡大の商談会等への参加	
1回以上の場合	○
⑤職員の人事評価制度	
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○
⑥ピアソポーターの配置	
ピアソポーターを職員として配置している	
⑦第三者評価	
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている	
小計 (注2)	5
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点	15

(II) 生産活動	
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満	
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満	
①⑥点 ②⑤点 ③④点 ④②点 ⑤①点 ⑥③点	60

(V) 地域連携活動	
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○
1事例以上ある場合:10点	10

(III) 多様な働き方 (※)	
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	
就業規則等で定めている	
②利用者を職員として登用する制度	
就業規則等で定めている	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
就業規則等で定めている	
④フレックスタイム制に係る労働条件	
就業規則等で定めている	○
⑤短時間勤務に係る労働条件	
就業規則等で定めている	○
⑥時差出勤制度に係る労働条件	
就業規則等で定めている	○
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	
就業規則等で定めている	○
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	
就業規則等で定めている	○
小計 (注1)	5 点
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点	15

(VI) 経営改善計画	
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○
期限内に提出していない場合:-50点	0

(VII) 利用者の知識・能力向上	
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○
1事例以上ある場合:10点	10

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計
175
点 / 200点



就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(I) 労働時間			
前年度（令和5年度）			
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	19,756 時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,340 人
利用者の1日の平均労働時間数	5.91 時間		
(II) 生産活動			
会計期間（4月～3月）			
生産活動収入から経費を除いた額	17,235,047 円	利用者に支払った賃金総額	14,789,598 円
収支	2,445,449 円		
前々年度（令和3年度）			
生産活動収入から経費を除いた額	22,420,816 円	利用者に支払った賃金総額	15,884,714 円
収支	6,536,102 円		
前年度（令和4年度）			
生産活動収入から経費を除いた額	25,020,152 円	利用者に支払った賃金総額	17,008,247 円
収支	8,011,905 円		
(III) 多様な働き方			
前年度（令和5年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）			
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	②利用者を職員として登用する制度	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
○免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	○利用者を職員として登用する制度を定めている	在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	
④フレックスタイム制に係る労働条件	⑤短時間勤務に係る労働条件	⑥時差出勤制度に係る労働条件	
○フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	○短時間勤務に係る労働条件を定めている	○時差出勤制度に係る労働条件を定めている	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
○有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	○傷病休暇等の取得に関する事項を定めている		
(IV) 支援力向上			
前年度（令和5年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）			
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	②研修、学会等又は学会誌等において発表	③視察・実習の実施又は受け入れ	
○研修計画を策定している	○研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	○先進的事業者の視察・実習の実施している	
○外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	※研修名 障害者の権利擁護・虐待防止に関する研修会 研修講師 岡山地場障害者基幹相談支援センター 管理者 鈴木要介氏 実施日・受講者数 1月 15 日 1人	もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ※先進的事業者名 さんさん山城 ※実施日/ 参加者数 1月 30 日 1人	
※研修名 障害者の権利擁護・虐待防止に関する研修会 研修講師 岡山地場障害者基幹相談支援センター 管理者 鈴木要介氏 実施日・受講者数 1月 15 日 1人	※研修、学会等名 農福連携WEBセミナー 実施日 7月 25 日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ ねぎ栽培で実践する組織的な農福連携	※他の事業所名 茨城県議会保健福祉医療委員会 実施日/ 参加者数 7月 20 日 10 人	
④販路拡大の商談会等への参加	⑤職員の人事評価制度	⑥ピアサポートの配置	
○販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ※商談会等名 第16回アグリフードEXPO東京 主催者名 日本政策金融公庫 日時 8月 23 日～ 24 日 内容 岡山県農商と協力し、4社と商談。取引開始に至る。	○職員の人事評価制度を整備している ○当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日 H 29年 4月 1日 人事評価制度の対象職員数 9名 うち昇給・昇格を行った者 9名 当該人事評価制度の周知方法 社内掲示により	○ピアサポートを配置している ○当該ピアサポートは「障害者ピアサポート研修」を受講している ※配置期間 月 日～ 月 日 就業時間 職務内容	
⑦第三者評価	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
○前年度末日から過去3年内に福祉サービス第三者評価を受けている	○ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている		
※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関	※認証を受けた日 月 日 規格等の内容		
(VI) 経営改善計画			
○指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。			
※受理日 年 月 日			

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ももっ子みつ
住 所	岡山市北区御津野々口1205-1
電話番号	086-724-5777

事業所番号	3310102292
管理者名	廣瀬 樹里
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

(場所) 岡山市北区御津国ヶ原 他
 (期間) 4月1日～3月31日
 (活動概要) ミニトマト・青ねぎ等の収穫
 及び管理作業全般
 (利用者数) 7人/程度

<活動の様子>

(ミニトマト 誘引作業)



(青ねぎ 播種作業)



<目的>

農業生産法人と連携し、ミニトマト・青ねぎ
 里芋等の生産活動
 地域との交流、耕作放棄地の有効活用
 収入の確保等

<成果>

耕作放棄地が減り、地域の活性化に繋がった。
 広い農地にて生産数、出荷量が増え、
 収入アップに繋がった。
 更なるスキルアップを目指して、
 品質の向上、地域貢献をしていきたい。

連携先の企業等の意見または評価

生産物の品質はスキルアップにより年々向上してきているので、更なる向上を目指し頑張ってもらいたい。
 耕作放棄地の活用に関しても、地域に取り組みが理解され、新たに圃場を借りてほしいというお話を地域住民
 よりいただいているので、更なる効率アップ、新たな労働力の確保により、規模拡大を図っていただきたい。

連携先企業名	有限会社 岡山県農商	担当者名	社長 板橋良樹
--------	------------	------	---------

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ももっ子みつ
住所	岡山市北区御津野々口1205-1
電話番号	086-724-5777

事業所番号	3310102292
管理者名	廣瀬 樹里
対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

パナソニック吉備にて見学・勉強
 (場所) 岡山県加賀郡吉備中央町竹部2098
 (日時) 令和5年6月2日
 (活動概要) 一般就労を目指して、必要な技術の習得
 (利用者数) 1人

<目的>

特例子会社にて障害のある方の働き方の見学。
 機械などを使った細かい作業工程の体験、スキルアップ。
 どんな人材が求められるのか意見交換会をし、
 一般就労への視野を広げていく。

<成果>

作業台の高さの調整や、ランプの点灯による知らせで
 作業工程が細分化できており、利用者の方も
 安心して作業体験ができた。
 始めての作業に少し戸惑いがあり、
 質問が思うようにできなかつた。



連携先の企業や事業所等の意見または評価

障害者雇用の方針を全従業員に対して発信していく、障害のある方が働きやすい職場を提供していきたい。
 パナソニック吉備では、自分のペースで作業を行う事でそれぞれの方のモチベーションを保っているので、
 困った事、配慮してほしい事、不安に思っている事は気軽に相談してほしいです。

連携先企業（担当者）

パナソニック吉備（中村）

利用者からの意見・評価

初めての体験で、緊張した。作業の順番が分かりやすく示してあったので、落ち着いて確認してから取り組むよう意識したら作業がうまくいったので嬉しかった。
 一般就労に向けて習得する技術はたくさんあり、細かい作業が今回体験できて、貴重な経験をした。

令和5年6月2日

利用者の知識向上、一般就労に向けた視察・支援

ももっ子みつ

廣瀬

・日 時 令和5年6月2日（金） 14時30分～16時

・視察先 パナソニック吉備株式会社

(パナソニックコネクト株式会社の特例子会社)

岡山県加賀郡吉備中央町竹部2098

出資割合 岡山県 24.5% 吉備中央町 9.0%

パナソニック（株） 66.5%

・目 的 ①事業所の施設見学・勉強

②特例子会社での障がいのある人たちの仕事の内容について

③一般就労に向けての勉強

④意見交換

・参加者 ももっ子みつ 廣瀬、延本（利用者）

・内 容 先ず、中村社長様より、会社の経営方針、業務の概要についての

説明があり、その後、各作業現場を見学した。

人員 76名（内、障がい者 35名、健常者 41名）

平均年齢 40.9歳（障がい者 37.7歳 健常者 43.6歳）

業務内容

ビデオカメラ関連製品製造、環境測定、ITデジタル業務

・各作業現場は、作業工程により、作業台の高さの調整、部材の減少をランプの点灯により知らせたり、スイッチで製品が動いたり、拡大鏡とLEDで細部の作業がし易いように工夫されていた。

台車等は置場所の位置が表示されていた。

車椅子での作業がスムーズになるように、L字型の机の脚が当たらない工夫、重量のある製品は自動的に動かせるようにと安全面にも配慮されていた。

・聴覚障がいの方との指示等は、マイクで話す言葉がモニターに映り

目で見て確認できる仕組みや、作業中の気付き、要望等をボードに掲示、品質管理のボード、各机の横に作業指図書等が配備されていた。

- ・玄関（社員の出入口）には、車椅子のタイヤクリナーがあり、タイヤに付いた土等を落とす機器が設置されていた。
- ・健康管理の為の部屋が設けられており、看護師資格を持つ社員が日々の健康相談、個人面談等を行っている。
- ・障がい者の特性に合わせて、作業や環境を調整されていた。
- ・資格取得やアビリンピック等の競技大会への支援も行われていた。
- ・困ったこと、配慮して欲しいこと、不安に思っていること等が気軽に話合える場が充実している。

<働きやすさ> <働き甲斐>

- ・自分のペースで作業等を行うことで、モチベーションを保っている。
- ・あいさつから会話へを実践している。
- ・製造業務では、受注の商品が生産中止等になった場合は、大幅な売上げ減少となるので、非製造部門（環境分析、ファイル電子化、ＩＴ・デジタル業務）の割合を増やして行く必要があるとの話。

- ・感想 中村社長様は、非常に熱い方で、適度なオヤジギャグを交えて、オリエンテーションから現場説明まで、行って頂きました。

また、社長自らが障害者雇用の方針を全従業員に対して発信
障がいのある方が働きやすいように、製造工程から机上の物の配置・移動等が工夫されており、さすが大手であるなと感じました。

また、上司との交換日記等により、困りごとや悩み等を把握して対処し
励ましコメントをすることで、モチベーションの維持高揚につなげている
点について、当事業所の運営に活かして行きたい。

また、作業工程の一部を延本さんに、体験してもらったが、作業服を着て、
初体験であり、少し戸惑いもあり、質問が思うようにできなかった。
本人もここで働いている人は、レベルが高いと感心していた。